

おおてみち

第117号

令和3年(2021年)10月1日
滋賀県立安土城考古博物館

令和3年度秋季特別展

公益財団法人滋賀県文化財保護協会設立50周年記念

黎明

東西文化が共生した先史時代の近江



令和3年 **10月9日(土) - 11月21日(日)**

●開館時間：午前9時～午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)

●休館日：月曜日

●入館料：大人900円(690円) / 高大生640円(470円) /
小中生420円(310円) / 県内高齢者(65歳以上)460円(350円)

※()は20人以上の団体料金です。

※「信長の館」との共通券：大人1,190円 / 高大生720円 /
小中生430円 / 県内高齢者(65歳以上)850円

※必ずマスクを着用してください。発熱・カゼ症状のある方は来館をお断りしております。



近江風土記の丘
滋賀県立 **安土城考古博物館**
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

黎明

— 東西文化が共生した

先史時代の近江 —

会期 10月9日(土)～11月21日(日)

日本列島にさまざまな地域色をもつて展開した縄文時代の土器文化。その地域色の広がり、伊勢湾と若狭湾を結ぶラインを境界とするケースがしばしば見られます。現在の東西日本で方言や習俗が異なるのと似た現象がうかがえそうです。

そうした縄文時代は、稲作を伴う「遠賀川系土器」文化が西日本に普及したことで終焉し、先史時代に一大エポックを築きました。この遠賀川系土器文化の広がりも、まさに伊勢湾と若狭湾を結ぶラインを境界としています。この境界に近いところに位置する近江では、西日本に広がる弥生文化をベースにししながら、東日本に残る縄文文化の影響も色濃く受容して、両文化が複雑に共存する地域文化を展開します。

今回の展示では、公益財団法人滋賀県文化財保護協会が50年にわたって発掘調査した主な遺跡を中心に、縄文～弥生時代の近江文化を紹介いたします。

【主な展示資料】

縄文時代

相谷熊原遺跡、粟津湖底遺跡、赤野井湾遺跡、弁天島遺跡、竜ヶ崎A遺跡、小川原遺跡、松原内湖遺跡、滋賀里遺跡、丁田遺跡、上出A遺跡 の出土品（以上、滋賀県）
三重県粥見井尻遺跡、福井県桑野遺跡、奈良県橿原遺跡 の出土品

弥生時代

烏丸崎遺跡、小津浜遺跡、赤野井浜遺跡、針江浜遺跡、堤ヶ谷遺跡、宮前遺跡 の出土品
大岩山銅鐸（以上、滋賀県）
愛知県朝日遺跡、石川県八日市地方遺跡、福井県下屋敷遺跡、吉河遺跡、京都府鶏井冠遺跡 の出土品

※出品資料は、都合により変更する場合があります。

〈関連博物館講座〉

① 10月23日(土)

「縄文人の生活戦略 — 湖辺での暮らし —」

講師 小島孝修（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）

② 10月30日(土)

「交差する人々

— 大陸系穀物の受容と東日本系祭祀の展開 —」

講師 寺前直人氏（駒澤大学文学部教授）

③ 11月14日(日)

「初期農耕文化の東伝

— 淀川をさかのぼった遠賀川集団はどう変わったか —」

講師 森岡秀人氏（関西大学大学院非常勤講師）



上出 A 遺跡 土器棺墓の出土土器（縄文晩期～弥生前期）

※いずれも、13時30分～15時 当館セミナールーム

参加費300円 定員50名

※往復はがきによる事前申込制（受付先着順）

受付は9月23日(木)から

※新型コロナウイルスの関係で中止する場合があります。

※事情により行事内容や日時が変更になることがあります。

最新の情報および詳しい申込方法は、当館ホームページでご確認下さい。

文字の刻まれた土器

—野洲市桜生7号墳出土品—

会期 11月24日(水)～令和4年1月23日(日)
会場 望楼下

桜生7号墳は野洲市小篠原に所在する桜生(さくらばさま)古墳群の一つです。発掘調査の結果、埋葬施設である横穴式石室は6世紀後半頃に築造され、少しの間をおきながら7世紀中頃までに少なくとも3回の埋葬があったと考えられます。この石室の入口近くから出土したのが、今回ご紹介する文字の刻まれた須恵器の短頸壺です。

この壺が作られた時代はその形の特徴から7世紀前半。文字はこの壺が焼かれる前に刻まれているので、この文字が書かれたのも同じ時期です。つまり、県内で発見されたなかで最も古い文字資料の一つとなります。書かれた文字は7文字で、判読できない字が多いですが、どうやら人名が書かれていたらしく、この古墳に埋葬された人物や身分に関わるものとして注目されました。

この須恵器が令和3年(2021年)に滋賀県有形文化財に指定されたことを受けて、今回改めてみなさまにお披露目することにします。



桜生7号墳出土品 (へら書き文字のある須恵器)

連続講座

連続講座Ⅱ

「新・安土城講座」〈全6回〉

講師 木戸雅寿氏(滋賀県文化スポーツ部 参事員)

①10月2日(土)

「安土築城の意義—信長の意図—」

②11月13日(土)

「天主と天守—天下人の天守とは—」

③12月4日(土)

「『天守指図』の謎」

④令和4年1月15日(土)

「安土山図屏風を探せ」

⑤令和4年2月12日(土)

「新説・安土セミナリヨ」

⑥令和4年3月19日(土)

「幻の安土城復元プロジェクト」

入門講座

12月12日(日)

「大岩山銅鐸」

講師 伊庭功(当館学芸課長)

※いずれも、13時30分～15時 当館セミナールーム

参加費300円 定員50名

※往復はがきによる事前申込制(受付先着順)

※新型コロナウイルスの関係で中止する場合があります。

※事情により行事内容や日時が変更になることがあります。

最新の情報および詳しい申込方法は、当館ホームページで確認ください。

博物館に親しむ催し

12月5日(日)

お正月飾りを作ろう

※13時30分～15時

参加費300円 定員10名

※電話にて11月5日(金)から受付

※新型コロナウイルスの関係で中止する場合があります。



博物館の主な催し

10月

1 金
2 土 連続講座Ⅱ①(木戸雅寿氏)
3 日
4 月 休館日
5 火
6 水
7 木
8 金
9 土
10 日 よし笛コンサート
11 月 休館日
12 火
13 水
14 木
15 金
16 土
17 日
18 月 休館日
19 火
20 水
21 木
22 金
23 土 秋季特別展関連講座①(小島孝修)
24 日
25 月 休館日
26 火
27 水
28 木
29 金
30 土 秋季特別展関連講座②(寺前直人氏)
31 日

秋季特別展「黎明―東西文化が共生した先史時代の近江―」

11月

1 月 休館日
2 火
3 祝
4 木
5 金
6 土
7 日
8 月 休館日
9 火
10 水
11 木
12 金
13 土 連続講座Ⅱ②(木戸雅寿氏)
14 日 秋季特別展関連講座③(森岡秀人氏)
15 月 休館日
16 火
17 水
18 木
19 金
20 土
21 日
22 月 休館日
23 祝
24 水
25 木
26 金
27 土
28 日
29 月 休館日
30 火

秋季特別展「黎明―東西文化が共生した先史時代の近江―」

特別陳列「文字の刻まれた土器」

12月

1 水
2 木
3 金
4 土 連続講座Ⅱ③(木戸雅寿氏)
5 日 お正月飾りを作ろう
6 月 休館日
7 火
8 水
9 木
10 金
11 土
12 日 入門講座(伊庭功)
13 月 休館日
14 火
15 水
16 木
17 金
18 土
19 日
20 月 休館日
21 火
22 水
23 木
24 金
25 土
26 日
27 月 休館日
28 火
29 水
30 木
31 金

特別陳列「望楼下」近江の遺跡発掘成果Ⅱ「文字の刻まれた土器―野洲市桜生7号墳出土品―」

※博物館関連講座の会場は当館セミナールームです。

※事情により行事内容や日時・講師が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

※講座はすべて事前申込制となっております。詳細は、電話でお問い合わせください。なお、当館ホームページおよび講座の広報チラシでもご確認できます。

※滋賀県立安土城考古博物館は公益財団法人滋賀県文化財保護協会が指定管理をしています。

おおてみち 第117号
令和3年(2021年)10月1日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678 TEL0748-46-2424
E-mail : gakugei@azuchi-museum.or.jp URL : https://www.azuchi-museum.or.jp